

## 入札公告

条件付き一般競争入札を施行するので、地方自治法施行令（昭和22年政令第16号）第167条の6の規定に基づき、下記により公告する。

令和8年3月17日

下関市長 前田 晋太郎

### 記

#### 1. 契約名

下関市立公民館自家用電気工作物保安管理業務

#### 2. 契約内容

（別紙1-1、1-2、1-3、1-4、1-5）のとおり  
仕様書中、下関市を「甲」、受託者を「乙」と表記する。

#### 3. 委託期間

令和8年（2026年）4月1日から令和9年（2027年）3月31日まで

#### 4. 入札条件

- （1）地方自治法施行令第167条の4の規定に該当しないものであること。
- （2）この公告の日から本業務の入札の日までの間、下関市競争入札参加有資格者指名停止等措置要綱に基づく指名停止等の措置を受けていないこと。
- （3）下関市の物品・役務競争入札参加有資格者名簿（庁舎等管理業務（電気設備保全管理））に登録された者で、かつ下関市内に事業所（本社、支店、営業所等）を有すること。
- （4）電気事業法施行規則（平成7年通商産業省令第77号）第52条の2の該当する号の要件を全て満たし、本保安管理業務に従事する者として、電気主任技術者の免状を有している者が3名以上所属（役員又は従業員）していること。

#### 5. 入札参加資格の確認審査

入札参加資格の確認審査は、以下のとおりとする。

- （1）提出書類

- ア. 入札参加資格確認申請書（別紙２）
- イ. 保安点検従事者の一覧及び資格を示す書類（別紙３）
- ウ. 入札保証金の免除を受けようとする者は、第８項の入札保証金の免除に係る書類

(２) 提出方法

持参又は郵送（書留郵便に限る。提出期限までに必着のこと。）

(３) 提出期限

令和８年３月２４日（火）午後５時

(４) 提出先

〒７５１－０８３０ 下関市幡生新町１番１号

下関市教育センター１階 下関市教育委員会 教育部 生涯学習課

(５) 審査結果

入札参加資格確認通知書（別紙４）にて通知する。

６. 質問等

本業務に関する質問は、以下によること。

- (１) 提出書類 質問書（別紙５）
- (２) 提出方法 ファクシミリ（番号０８３－２２２－８３３３）
- (３) 質問期限 令和８年３月２４日（火）午後５時
- (４) 回 答 速やかに質問書提出者のみに書面で回答する。

７. 入札日時等

- (１) 入札日時 令和８年３月２７日（金）午前１１時
- (２) 入札場所 下関市教育センター２階 小研修室１
- (３) 入札方法 郵便による入札は認めない

８. 入札保証金

- (１) 下関市契約規則による。ただし、納付が必要である者については、後日通知する。
- (２) 参加資格者が、次のいずれかに係る書類を提出した場合には、入札保証金を免除する。

- ア. 保険会社と契約した下関市を被保険者とする入札保証保険契約書の写し
- イ. 公告日から２年度以内に国又は地方公共団体その他公共団体と締結した

電気工作物保安管理業務の契約書の写し（2件以上。契約日、相手方、電気工作物保安管理業務の規模又は内容が確認可能なもの。）

ウ. その他契約を締結しないこととなるおそれがないと認められる書類

## 9. その他

- (1) 入札は、入札書（別紙6）及び委任状（別紙7）を使用すること。
- (2) 入札額は、消費税及び地方消費税を含まない額を記載すること。
- (3) 入札参加者が入札の日までに入札条件を満たさなくなった場合は入札に参加できない。
- (4) 入札に参加する者に必要な資格の無い者のした入札及び、関係法令等に定める条件に違反した入札は無効とする。
- (5) 次に掲げるものの一に該当する入札は無効とする。
  - ① 入札者が明確でないもの又は入札価格を判読することができないもの。
  - ② 入札者の記名押印のないもの又は住所の記載のないもの。
  - ③ 金額を訂正した入札書によるもの。
  - ④ 入札保証金の納付がないもの又は入札保証金が不足するもの。
- (6) 落札者が契約までに入札条件を満たさなくなったとき、又は指名停止を受けたとき、ならびに業務に必要な人員の配置ができなくなった場合は、落札決定を取り消し、契約を行わないものとする。
- (7) 入札において、事故が起きたときや不正な行為があると認めたときは、入札を中止し、または延期する場合がある。
- (8) 入札参加資格確認申請に係る費用は、全て申請者の負担とする。なお、入札参加資格の有無に関わらず、申請書類等は返還しない。
- (9) 本業務において得た入札参加資格は、本公告に定められた入札期日をもって、その効力を失う。
- (10) 入札書等の契約に関する書類の作成に当たっては、消せるボールペンは使用しないこと。
- (11) 入札会場への入場は1名までとする。